

教えて!

vol.68

市立病院

テーマ

においがしない?
早めの受診を

今月のドクター

耳鼻咽喉科長
齊藤 史明 医師



嗅覚障害の原因は様々です。風邪による場合もあれば、においを感じる鼻の奥の嗅裂きゅうれつという場所の前のポリープや、副鼻腔炎ふくびくうえんが原因の場合もあります。副鼻腔炎は、急性の場合は風邪の後症状が出る事が多く、慢性の場合は頭痛や鼻の痛み、臭いにおいがする、膿のような鼻水がのどに入る、後鼻漏こうびろうという粘りが増した鼻水がのどに落ちるなどの症状があります。

嗅覚障害の原因を探るため、鼻の中をファイバーで観察し、レントゲンやCTによってポリープや副鼻腔炎があるかどうか確認します。また、血液検査で好酸球の増加を調べることにより難治性の(治りにくい)副鼻腔炎である好酸球性副鼻腔炎の可能性を調べます。

治療は原因によって異なりますが、ステロイド点鼻薬をアレルギーの薬と並行して投与したり、漢方薬とうきしやくやくさんの当帰芍薬散を処方したりします。様々なにおい

を嗅ぐリハビリもあります。それでも治らない場合は、山形大学医学部附属病院と協力しているので、大学病院での治療につなげることが可能です。また、副鼻腔炎が原因の場合は手術を行います。昔は歯齦部しげんぶ(歯ぐき・歯肉)を切開していましたが、近年は内視鏡による鼻から行う手術が1週間程度の入院でできるようになりました。

なお、耳鼻咽喉科は、顔面から頸の部分、脳の下から鎖骨までの幅広い疾患が対象です。顔面神経麻痺や片側が急に聞こえなくなるタイプの難聴になった人は、様子を見ずにすぐに受診することが重要です。当院では10月から医師が2人となり、より多くの診療を行うことができますので、気になる症状がある人は積極的に受診いただくと早期発見、早期治療につながると考えられます。

■問合せ/市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

目指せ!! 健康長寿日本一



第8回

障がいのある人の健康診断

ちょうど1年前、市内のある障がい福祉サービス事業所から、施設利用者の健康状態が心配なので、健診内容などについて教えてほしいと相談がありました。健診をきっかけに普段の生活の見直しについて支援をしたいとお話でした。また、障がいのある人の中には、健診会場内では普段と違う環境なので混乱してしまったり、問診や採血、胃がん検診などの際に不安を解消するための声掛けなどの支援が必要であるとのことでした。

こうしたことから、障がいのある人が気兼ねなく健診を受診できるような体制づくりや、別枠で受診できる機会を設定できないかなど、より健診を受診しやすい環境づくりについて改めて考えました。

そして、この度福祉サービス事業所のスタッフと話し合いの場を持ち、米沢検診センターの協力のもと、手を挙げた市内6事業所に、施設利用者向けの健診日を別枠で設けて健診を実施しました。さらに、

健診の結果については保健師が事業所に出向き、施設利用者へ生活習慣の見直しや食事指導などを行いました。また、今回のことをきっかけとして、施設利用者の健診を事業所として定期的に行っていききたいとの声もありました。

1つの事業所の声から始まった「障がいのある人の健康診断」ですが、今後も、より受診しやすい体制を目指して健康診査及び生活習慣に係る健康相談会を実施していきたいと考えています。市民誰もが健康で明るく元気なまちづくりをしていきます。

利用者に色々な社会経験をしても
らいたい。健診もその一つです。顔
なじみで受診できたことで不安が軽
減されたと思います。事後指導で食
事の話聞いて良かったです。



事業所の声

■問合せ/健康課健康企画担当 ☎ 24-8181